



shine on!

## シャイン・オン!キッズ

小児がん、重い病気と闘う子どもたちと  
家族の支援のために

シャイン・オン!キッズは、「病院に常勤するファシリテイドッグ」、「ビーズを使った介在療法であるビーズ・オブ・カレッジ」といった独自のプログラムによって、小児がんや重い病気の子供たちとそのご家族を心の面で支える活動を行っています。

活動は、個人の方や企業からいただく寄付金で成り立っています。子ども達やご家族を継続して支えていくためにはプログラムの活動資金が必要です。皆様の可能な範囲でかまいません。活動に共感いただけましたら、どうぞ寄付・ご支援をいただけますようお願いいたします。

### 寄付金を送る

認定 NPO 法人への寄付は、個人・企業ともに税額控除対象になります。

寄付には、ウェブサイトからクレジットカードをご利用いただけます。銀行振込みによる寄付は、下記宛にお願いいたします。恐れ入りますが、ご入金のお知らせを [donation@sokids.org](mailto:donation@sokids.org) 宛にメールでお知らせください。

三菱UFJ銀行 渋谷支店  
普通預金 3869074

口座名：トクテイヒエイリカドウホウジン  
シャインオンキッズ

その他、ご支援の方法はウェブサイト  
<https://ja.sokids.org/> でご覧ください。



- ・古本や DVD で寄付をする：チャリボン
- ・チーム・ビーズ・オブ・カレッジに参加する
- ・独自のイベントを企画開催して収益から寄付をする

デジタルニュースレター(毎月1回配信)も  
ウェブサイトから購読登録できます。





## シャイン・オン！キッズとは



小児がんや重い病気の治療を受ける子ども達は、長期にわたる入院治療生活で不安や過剰なストレスと闘っています。日本の医療レベルは世界で最も進んだものといえますが、患者や家族のサポート面ではまだ立ち遅れています。

シャイン・オン！キッズは、20年近く日本に暮らし、息子を小児がんで亡くした外国人夫妻によって2006年に東京で設立された特定非営利活動法人(NPO法人)です。

長くつらい入院治療中でも、子ども達が笑顔を忘れずにいられるように、独自の「心のケア」のためのプログラムを、全国のこども病院や小児病棟に提供しています。

2012年12月に優良な活動を行っているNPO法人として東京都より「認定NPO法人格」を取得しました。

## ファシリテッドッグ

ファシリテッドッグは、病院に常勤して医療チームの一員として働けるように、専門的なトレーニングを受けた犬です。ハンドラー（臨床経験のある医療従事者）とペアになって活動し、単なる患者とのふれ合いにとどまらず、治療にも関わっていきます。日本ではまだ、シャイン・オン！キッズが派遣する五頭しか存在しません。



ファシリテッドッグの大きな特徴は、毎日同じ病院に勤務し、個々のニーズに合わせた活動を行なうことです。いろいろな病院や施設を巡回訪問することはありません。

ときどき来て短い時間にふれ合うのではなく、同じ犬がいつもそこにいて多くの時間を繰り返し過ごせることが、入院治療している子どもたちの心の励みになります。

苦い薬がのめなくて泣いていた子が、ファシリテッドッグが横にいることでがんばって薬をのんだ、骨髄穿刺のような辛い治療もファシリテッドッグが付き添うことで使う麻酔薬の量が少なく済んだ、ということも報告されています。手を動かさなかった子がファシリテッドッグにさわろうとして手を動かせた、ということも起きています。子ども達にとっては「犬」ではなく、病気を一緒に闘う「しっぽの生えた仲間」なのです。

### ファシリテッドッグプログラム導入病院：

静岡県立こども病院 (2010年1月→)

神奈川県立こども医療センター (2012年7月→)

東京都立小児総合医療センター (2019年8月→)

国立成育医療研究センター (2021年4月→)

## ビーズ・オブ・カレッジ

ビーズ・オブ・カレッジ(勇気のビーズ)は、子どもたちが勇気を出してつらい治療を乗り越えていく過程を色とりどりのガラスビーズで記録していくプログラムです。例えば、採血したときは黒いビーズ、髪が抜け始めたときは顔のビーズなど、処置や治療ごとに決められたビーズを医療スタッフから説明を受けながら受け取り、子どもが自ら繋いでいきます。どの子ども、自分が闘ってきた証となるビーズを誇らしげに見せてくれます。ビーズが「ツール」となり治療の可視化が出来、振り返りをすることで本人も家族も前向きになることが出来ます。

ビーズ・オブ・カレッジは欧米では標準的な治療の選択肢として採用されており、日本ではシャイン・オン！キッズが米国NPO法人ビーズ・オブ・カレッジから承認を受け、国内24ヶ所(2021年7月現在)の病院に提供しています。



入院が1年に及ぶ子どもの場合には、ビーズの数がおよそ900個にまで達します。

## チーム・ビーズ・オブ・カレッジ

ビーズ・オブ・カレッジプログラムの中で使われるビーズのひとつで、一般の皆さまから病気と闘う子どもたちに勇気や力をおくっていただくものです。その人なりに何かにチャレンジする機会に、2個一対の小さなハンドメイドのビーズ(チーム・ビーズ・オブ・カレッジ)を身につけます。

チャレンジが終わったら、その人の勇気とパワーが込められた2個のビーズのうち、ひとつを自分の手元に、もうひとつを小児がんや重い病気で入院治療中の子どもにおくります。

子ども達は「会ったことも無いけど自分のことを応援してくれる人がいる」と、つらい局面でこのビーズを心の支えにして、病気に立ち向かいます。参加お申込みは、ウェブサイト <https://ja.sokids.org/> でご覧ください。

